兵庫保険医新聞
第1662号
2011年8月5日
発行所　兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078・393・1801
（1部350円送料共・年間購読料12,000円）
振替01190-1-2133
（会員の購読料は会費に含まれています）

新聞部の会員訪問　川柳作家・大西　俊和先生の巻

十七音字に込める心の機微

現代川柳作家として活躍し、月刊保団連「ドクター川柳」の選者でもある西宮市の大西俊和先生を、岡山大学精神科の先輩でもある湯之上茂姫路・西播支部副支部長が訪ねた。

川柳作家・時実新子に師事

湯之上　保団連雑誌「月刊保団連」で昨年から「ドクターのつぶやき川柳」が始まりました。選者をされていますが、どうですか。

大西　ドクター川柳は、今年3月号で、1年間の投稿作品から「年間大賞」を選ばせていただきました。医師・歯科医師の先生方が、日常診療の中でひとりの人間としての視点から作られた作品が多く、すばらしいと思います。

湯之上　実は、私もペンネームでときどき投稿させていただいており、お名前を拝見し、久しぶりにお会いしたいと思っていました。先生が川柳を始められたきっかけは何ですか。

大西　小学校のときに書いた詩です。勉強は苦手でしたが、たまたま書いた詩を先生にほめられてから、我流で作るようになりました。文芸として習い始めたのは、1977年、神戸西市民病院にいたときです。脳外科の千原草之先生から俳句を習いました。

湯之上　私も文芸をかじっていましたので、その頃から大西先生が活発に投稿をされ、入選されていたのをよく覚えています。俳句から、どうして川柳へ？

大西　90年に尼崎で、俳句ラリーという、猪名川沿いを歩きながら俳句を作るイベントに参加したとき、世話役をしている方に「川柳も面白いよ」と誘われたのが、きっかけです。その方の先生、川柳作家・時実新子先生が講師をされている神戸新聞文化センターの川柳教室へ月1回通うことになりました。作って持参した3句を先生が皆の前で添削してくださいました。

湯之上　時実新子さんは全国でさまざまな選者をされ、本もお書きになった優れた川柳作家ですね。亡くなられたのが残念です。

大西　本当に魅力的な先生でした。私は飽き性なんですが、その教室をきっかけに川柳仲間ができ、句会に参加し、わいわいと川柳について話すのが楽しく夢中になりましたね。先生と仲間に恵まれたおかげで、20年間も続けてこられました。

震災をきっかけに句集を出版

湯之上　句集も出されているんですね。

大西　95年の阪神・淡路大震災で西宮市も大きな被害を受け、平和で一見退屈な日常の大切さに気づかされたことがきっかけになりました。震災から1年経ち、自分のこれまでの創作に区切りをつける意味を込めて、新子先生に句を選んでいただき、句集を作ることができました。

湯之上　「恋法師」というタイトルがいいですね。

自身の句集と詩集を手に笑顔の大西先生（診療所1階、ご夫人が開く「ギャラリーさらさんじゅ」で）

【おおにし　としかず】1944年生。63年岡山大学医学部卒、70年同大学精神科入局、75年神戸西市民病院神経内科勤務、79年大西神経内科医院開業、現在に至る。現代川柳「かもめ舎」同人。甲南カルチャー「現代川柳教室」講師など

大西　これも私の句からとっています。まだ若かったので甘い恋の句が多いですね。

起きあがり小法師のような恋法師

君は薔薇僕はふわふわかすみ草

負けるものか地震の街に梅香る

聞き手
湯之上　茂
姫路・西播副支部長

自然を詠む俳句　自分を詠む川柳

湯之上　俳句と川柳はある意味、似ていますよね。川柳の方が自由に詠めるものと捉えていますが。

大西　もともとどちらも室町時代の俳諧の連歌から生まれた、5・7・5の定型詩なので、似ていて当然です。違いは「川柳には季語や切れ字などの決まりはない」くらいで考えていただいていいと思います。最も大きな違いは、詠む対象です。俳句は「吟行」と言い、自然を見て、自然から受けるものを描写しますが、川柳は自然に限りません。江戸時代に始まる古川柳は、社会を風刺するものでした。

湯之上　「川柳」という言葉のきっかけになったのは、古川柳の選者・柄井川柳ですね。今も「サラリーマン川柳」などで社会を風刺する川柳はありますが、先生の句は違うのですか。

大西　はい。現代川柳は、自分の内面を見つめます。自分が感じたことを自分の言葉で5・7・5のリズムにするのです。「ドクター川柳」でも、自分の内面を対象とした作品が加わると素敵だなと期待を持っています。今日も夏をテーマに数句作ってきました。

花火大会みんな子供の目に戻る

生かされて今年も浴びる蝉時雨

入道雲よ日焼け小僧を憶えているか

夏の記憶を重ね男は老いていく

老夫婦二こと三こと食うスイカ

湯之上　自然を詠むのではなく、自分の感じたことを表現するということですね。私は謡曲や能をたしなんできましたが、言葉は7・5音が多く、心地よく響くので、これは日本の中世・近代からできあがってきたものなんでしょうね。

大西　5・7・5は日本人の心に染み付いているリズムらしく、私は農耕と関係しているのではないかと推測しています。川柳の歴史や楽しみ方など「月刊保団連」2010年7・8月号で詳しくまとめています。ぜひご覧ください。

いつでもどこでも十七音字で表現

湯之上　川柳の魅力は何だとお考えですか。

大西　自分の内面を17音字という限られた形の中で表現する面白さです。しかも、筆記用具さえあれば、どこでも手軽にできます。電車でもお風呂でもトイレでも、思いついたときにすぐできます。診療していて、患者さんが途切れたときにふっと浮かんでくることもあり、忙しい医者のライフスタイルには向いているのではないでしょうか。

湯之上　いくつになっても続けられるのもいいですね。

大西　そうですね。私も65歳を過ぎましたが、やはり50歳代とは感じ方も考え方も変わり、句に変化が現れてくるように思います。

湯之上　私もたまに我流で句を作りますが、なかなかうまい句想が浮かばず難しいなあと思います。

大西　17音字での表現は、とても奥が深いですね。内容を膨らませるよう比喩や具象を使ったり、無駄を省略したりと工夫が必要で、頭を使います。だから多分、創造脳の前頭葉、記憶を司る側頭葉、感情の中枢である大脳辺縁系、感情を判断する扁桃核など、たくさんの脳を使っていると思います。

湯之上　なるほど。といって、考えすぎて技巧に走ってもうまい句はできず、ふっと浮かぶときに良い句ができる気がします。

大西　ええ。最近ワーキングメモリが注目されています。プログラムに色んな言葉を入れるように、短時間だけ記憶を集めて組み立てるような仕組みが、脳にあるのではないかと言われています。必要な時だけ記憶を持ってきて、用が済んだらすぐ消えてしまう。私は川柳もワーキングメモリで作っていると思っています。おっしゃった通り、ぱっと浮かびますが、書き留めなかったらすぐ忘れてしまうんですね。ですから、私は常にメモを持ち歩き、トイレにもメモ用紙と鉛筆をぶらさげています。

湯之上　精神科医としては、脳の働きを考えるのも興味深いですね。

大西　そうなんです。表現することは心や脳と密接に関わっていますので、そこも魅力です。

ウェブサイトで世界中と交流

湯之上　今は、どんな活動をされているのですか。

大西　4年前に新子先生が亡くなり月刊川柳誌「川柳大学」が終刊となりましたので、2008年に「ゆうゆう夢工房」というウェブサイトを仲間たちと立ち上げました。川柳に興味のある方は誰でもユーザー登録して参加でき、北海道から沖縄まで200人くらいのメンバーがいて、毎月句会を開いたり、情報交換したりと活動しています。多いときには月1万のアクセスがあり、中国やアメリカ・イギリスなど海外からも閲覧いただいており、インターネットの持つ広がりを感じます。

湯之上　診療も続けられながら、精力的ですね。

大西　川柳の活動が忙しく、診療時間が削られていけないなと思ってるんですが…やめられません（笑）。

湯之上　これからのいっそうのご活躍を祈念しています。本日はありがとうございました。

暑中お見舞い申し上げます

消夏特集号

兵庫県保険医協会　役職員一同

◆今号の記事

・会員投稿特集／フォトギャラリー　3～5、8、9面
・小出裕章氏講演録「福島第一原発事故の真実」　6、7面
・県立こども病院移転計画　10、12面

◆お知らせ

・本紙8月15日付は休刊します。
・協会事務局は8月15日（月）～17日（水）まで夏季休暇により休務、18日（木）から通常業務とさせていただきます。ご了承ください。

夏季セミナー 7／2−3

保団連

7月2、3日に大阪で開催された第41回保団連夏季セミナーには、兵庫協会から会員やスタッフなど50人が参加した。参加記を紹介する。

参加記①

消費税増税ではなく大企業の応分負担を

講座1「『社会保障と税の一体改革』と財源問題を考える」（講師・二宮厚美神戸大学発達科学部教授）に参加した。

二宮先生の著書は多数購読させていただいたが、書物に記載されない、文書に残し難い、先生の心意気（思い入れ）が何かあると思い、最前列の演台真正面に座り、舞台のかぶりつきで目線が直接合う、顔の表情がうかがえる位置で講演を拝聴させていただいた。

日本経済の現状分析として、少々経済成長しても税収はもう思うように伸びない。〝global化〟という社会経済津波が日本に接近しているということで、換言すれば、TPP津波が押し寄せてくる前段階であるという認識を持てば、現状を理解しやすい。

政府は、消費税を福祉目的税化して税率を上げようとしている。しかし、これは危険性がある。社会福祉、医療、介護、年金などの財源は、社会保障の経理区分を明確化すれば、好不況による税収の変動のため、社会保障が不安定化する。

また、産業の空洞化を防ぐため法人税率を下げ、金融資産優遇税制を推進しようとしている。その穴埋めとして消費税率を上げようとしているが、法人税率と産業の空洞化とは関係ないことを喝破された。

税収不足分は赤字国債で穴埋めしているが、日本国債の95％は日本人が購入している内債であるため、ギリシャのようにならない。

消費税による増税よりも、実は二宮先生の一番言いたかったことは、大企業の所有する巨額の内部留保金に対して国税のメスを入れること。企業の研究開発資金を除外しても、過剰な大企業の留保金に課税し、国の基幹税は、①所得税、②資産課税とする。

レジュメの文章には大企業への内部留保金の課税という表現はなかったが、最前列に座ったため、先生の表情からこれが一番言いたかったことに違いない（以心伝心）。大企業は社会に対して応分の負担をすべきである。

【明石市　永本　浩】

社会保障の財源問題がテーマに

参加記②

教えられた内部被曝の恐ろしさ

初日、身軽な服装の青年が登場し、軽いタッチで話し始めた。一時期TVに連日出ておられた湯浅誠氏である。かなり突っ込んだ内容をいとも簡単に説明されている。

最も印象に残ったのは、東日本大震災被災地で、自宅待機者の安否確認作業を申し出られた時のことである。個人情報保護のことがあり、市役所側は名簿を公表できないとのことであった。たとえ緊急時であろうとも、後の万一の訴訟を恐れてのことらしい。一方、市役所職員は激務であり、この方面の作業は全く進まないまま時間のみ過ぎていったという。

毎年の夏季セミナーには楽しみがある。K先生との朝食である。通常、家族以外との朝食はまれなはずだ。K先生とは年中顔を合わせているのだが、この時だけはいつも以上に話が弾む。お互いが年を取って歯科医師をやめるまでの間に、あと何回朝食を共にできるだろうか。

2日目は講座3「放射線被曝の実相と健康被害を考える」を選択した。最も大入りの会場であった。松井英介先生（岐阜環境医学研究所所長）・青木克明先生（広島協会理事）から内部被曝の恐ろしさを教えていただいた。福島原発事故の政府対応には批判が集中する。

最後に、兵庫協会の中井通治理事による政府縦割り行政の批判、そして「同じ敗戦国であるドイツにできることが、なぜできないのか、できないはずがない」といった発言には会場の一部から拍手が起こった。

【西宮市・歯科　藤森　隆史】

内部被曝の危険性を語る松井先生（左）と青木先生

●医院経営研究会　8月例会

税務調査！　慌てないために

日　時　8月27日（土）14時30分〜17時　会　場　協会会議室
講　師　中村　明税理士　参加費　3000円（医経研会員は無料）

お申し込み・お問い合わせは、☎078—393−1817　田村まで

女医の会インタビュー⑥

宝塚歌劇団の経験を力に高齢者ケア

宝塚市・歯科　桝谷（ますたに）　多紀子（たきこ）

中学3年生のとき、高校進学を前に大学進学か宝塚歌劇団をめざすのか進路選択を迫られ、悩みに悩んで、宝塚を選びました。

高校3年間お稽古を積んで、宝塚音楽学校へ。入団後4年目に、トップスター・甲にしきさんの相手役に抜擢され、新人賞をいただけ、「やりきった」と感じ、退団しました。

大河ドラマなど女優として活動しましたが、大学で学びたいという思いは消えず、30歳を超え、歯科医師になろうと決心しました。

舞台人には歯が命。台詞・声楽・バレエ・日舞…どれも噛み合わせや口腔内の状態で、出来が大きく変わることを実感しており、興味があったのです。

受験勉強は大変でした。それまで、朝から晩まで歌やダンスばかりで、机に向かう習慣がありません。つい動きたくなる足を椅子に縛りつけ、動かないことに慣れることから始めました。3年かけて勉強し、大阪歯科大学へ入学。卒業後、国家試験に合格するのにまた3年。ようやく歯科医師になれました。

93年に宝塚で開業しました。医院の窓からは見慣れた宝塚大劇場が見え、落ち着きます。劇団の関係者の方々もよく治療に来てくださいます。協会には、開業時・震災時にとてもお世話になりました。

7年前、かつての恩師と再開し、ショックを受けました。認知症を抱え、交友関係も失われて「死にたい」と絶望されていたのです。「高齢者にもう一度生きがいを持っていただくお手伝いをしたい」と強く思いました。

認知症を学ぼうと、2006年（平成18年）に神戸大学大学院精神神経科へ入学しました。診療しながらの受験勉強や論文執筆は大変でしたが、何度も厳しいご指導を受けながら論文を書き上げ、昨年医学博士の学位をいただけました。

辛いことはたくさんありましたが、宝塚ではダメ出しが当たり前でした。泣きながら、あきらめるものかと舞台に立ち続けた経験が、力になっています。

大学院修了はまだスタートライン。高齢者の方が生きていてよかったと思える社会にするため、あきらめず、診療と研究を続けていきます。

“温泉の町”の医療守る

美方郡　古澤（ふるさわ）　倫代（みちよ）

新温泉町で開業し17年になります。8歳のときに父を病気で亡くし、自分も身体が弱く、医療に関わる仕事をと思い医師になりました。

もともと豊岡市出身で、兵庫県養成医師としての12年間の義務年限終了後、外科勤務医である夫のすすめで開業しました。経営を担うことに不安があり、決断には少し時間がかかりましたが、地域に根をはった医療をと、開業を決意しました。子育ては義母の助けを借りました。本当に感謝しています。

新温泉町は日常生活では不便さがクローズアップされがちですが、日本海でとれた蟹や海老、お肉もおいしい地域です。

何より、温泉に恵まれ、患者さんには医院のデイケア施設でも温泉を楽しんでいただけます。冬場の消雪にはとても費用がかかるので温泉も使っています。ただ残念なのは、産業が少なく、若い人の働く場がないこと、人口も減っていることです。

但馬の医療再編の後、町内の公立病院の病床数は110床から55床になりました。介護保険施設が増え、私も特養の嘱託医も務めていますが、患者さんが急病になった場合、病院の受け入れ体制はあるのかと不安になります。

運行が始まったドクターカー、ドクターヘリは119番からの対応のみで、開業医や地域の中小病院が介入することはありません。

地域単位でしっかりしたバックアップがなければ、医療や介護の安心安全は確保されません。

病院の再編や診療所の存続問題など、いつも政治がらみで、経営問題ばかりが前面に出て、地域医療がどうあるべきかが議論されていないように感じます。

子どもからお年寄りまで、家族構成や、家族の問題も含めて関わって、健康を守っていくのが、開業医の役割だと実感しています。地域医療を担い、守る医療者として地域の方々とご一緒に頑張っていきたいと思います。

会員投稿特集

3～5、8、9面

テーマ① 私の消夏法

消夏法の思い出

洲本市　松本　敬明

振り返ってみました。

昭和一桁時代。生家は神戸市のど真ん中。湊川公園の東側でしたが、そんなに暑いように思いませんでした。扇風機も冷蔵庫もなくヨシズ張の日覆いくらい。蚊取り線香を焚いて窓は開けっ放し、手段は団扇くらい。父が須磨海岸へ海水浴に連れて行ってくれたのも数回。むしろほとんど連日、再度山（ふたたびさん）へ登っていました。ただ…

昭和14年の夏は7月4日、梅雨末期の集中豪雨による土石流で1階水没。8月中の2階暮らしの夏だけは格別の暑さでした。差し入れにいただいたラムネと団扇は格別の涼でした。

従軍中、タイ・ビルマ（現ミャンマー）、昼間は40度、直射日光下はカーッと暑いが、湿度ゼロ、木陰は涼しい。日没と同時に涼しくなる。現地の人は太鼓を叩いて踊っていました。

戦後、勤務医時代から開業後もお産を取り扱っていた時代、もちろんクーラーはなく、扇風機も？　ともかく診療と夜間も分娩、時間外オペと相次いで、あとは睡眠第一、暑さを感じる暇はなかったようです。もちろん、若さもありますが…。

ということになると、暑さを感じ、消夏法を考えるようになったのは昭和50年代ごろということになります。日本そのものが戦後復興の基調に乗ったころと同じかもしれませんね。三種の神器という言葉が流行、冷蔵庫・クーラーが庶民の手に入るようになったからでしょう。そして…

節電が喧しい昨今、畳の上に寝転がって風鈴の音を聞きながら団扇片手に、好きな小説本や随筆集を読むのが現在の私の消夏法!?昔に帰る…

暑さは暑い所で

高砂市　岡部桂一郎

私は高知に生まれて、長崎、佐賀で少年時代を過ごした。これらの地方はかなり暑いけれども、耐えられない暑さではなかった。

九州に住んでいたが、南は熊本までで、宮崎、鹿児島には旅行したことがない。小学生のころ、桜島の大噴火の影響で佐賀まで異様な天候になった。曇り空とは違う、空全体が薄暗くなり、洗濯物が薄汚れていた。雲仙や霧島の噴火は、あのころの異様さ、不気味さを思い出させる。

今年の夏休みは鹿児島へ行こうと、家内と相談して決めた。家内は鹿児島は2度目だが、九州新幹線とローカル列車に興味があり、非常に楽しみにしている。

薩摩地方は男尊女卑と鹿児島弁、桜島の噴煙で有名である。暑さは暑さで迎え撃つ心意気、薩摩隼人の真骨頂を体験できたらと期待している。薩摩料理と芋焼酎は全国で味わえるが、本場ものを本場の雰囲気で確かめるのも一興だろう。指宿（いぶすき）の砂風呂も楽しみである。

夏はビール、冷ややっこ、冷や酒、冷や麦など冷たいものを嗜好するのが日本人の夏の食習慣であるが、夏バテや熱中症を吹き飛ばす気持ちが大切だと思う。

明治維新で大活躍した偉人たちの生きざま、薩摩藩主、島津候の文明開化時の思想、琉球王国との争い、沖縄県の設置など、日本の歴史における薩摩の果たした役割をたどる糧になるかも知れない。

今回の旅行は、夏休みの課題として考えてみるのも一法かもしれないと思っている。

昔は気にならなかったが…

明石市　池本　恒彦

60に手が届こうとする現在の私の消夏法は、冷房のよく効いた部屋で読書をしたりテレビを見るか、あるいはパチンコ屋に行くぐらいである。

テレビの高校野球では兵庫県のチームが負けそうになると頭に血がのぼり、かなりって暑くなる。パチンコ、ちょっとひと涼みのつもりが、負けがこむと熱くなってよく涼めない。

ビールに対しては弱いので涼む効果はないが、精神的に涼しくなった気はする。タコやアナゴの酢の物、ハモ料理などがあると、頭おさらよい。

涼しさの効果を増強させようと思えば、水泳や農作業などの後で涼むのがよい。夏の水泳のあとは、冷房の効いていない場所でもの先から足の先まで涼しくなる。

怪談も悪くない。幽霊話は夏のものとなっているのが、納涼効果を狙っているのであろう。霊の存在などまったく信じないが、怪談を聞くと背筋が寒くなってよく冷える。ばかばかしいなどとは思わない。

満天の星空を眺めるのもよい。夜行列車の窓から見つめた星空は感動的であった。大気汚染などないようにして、きれいな星空を見られるようにしてほしい。

夏はやはりスイカである。冷やしたのをかぶりつくと、涼味が広がる。エチケットを守ってナイフとフォークでスイカを食べたのでは、涼しさを実感できない。

小学生のころは暑さなんてまったく気にならなかった。消夏法なんて発想自体が年のせいかもしれない。

テーマ② 自由題

陶悠々

三田市・歯科　福田　俊明

陶芸に興味を持っているなら、自分の作品を登りで焚くのは、あこがれのつかもしれない。それを月の猛暑日に体験させてらった。

真っ赤に燃えさかる窯内1200度、そこへ赤松割木をくべる。液体に引するごとく燃える。それ10分おきに2束入れる。時間ほど、汗だくになりながらであったが、とって楽しく、一言では言えな感動であり、師匠には大謝である。

窯出しされた作品は、自のではないような大満足ものであった。炎の偉大さを改めて知らされた。

これより先、連休を利用して、佐賀県の陶器作りの窯元を1人で旅した。陶磁器のメッカで、以前より見たかった場所だった。

唐津は町中に窯元が点在。特に仲里太郎右衛門14代の人間国宝の作品には、絵唐津があり、温味のあるすばらしい作品に出会うことができた。朝鮮唐津の景色にも魅了された。

大川内山の伊万里・鍋島焼は、優秀観光地づくり賞をもらっている山あいの里で、江戸時代、朝廷・将軍に献上されたことで有名。

透き通った白い肌に絵付けされ、何とも言えず気品あふれる高級品で、見ているだけでうっとりだった。

志田焼は、現在稼働していない、いわゆる産業遺産で、土・色・型・窯、どれも大変勉強させてもらった。

小鹿田（おんだ）焼は、10軒の窯元が共同体で一つの窯としているユニークな集落だ。バーナード・リーチが世に出した飛び鉋（とびかんな）の技法は有名で、蹴り轆轤（ろくろ）が今も使われている。

もっと詳細が書きたいが、またのチャンスに！

研修医時代の思い出

たつの市　高森　信岳

夏になると、研修医のころを思い出す。医者になりたてで、全てが初めてのことばかりであった。学生時代はサボっていたので、何をするのにも時間がかかり、1日があっという間に過ぎていった。

スーパーローテートの研修指定病院だったので、3カ月ごとに配置される科が変わる。外科、麻酔科、産婦人科および月に6回の救急での当直を義務付けられていた。

精神科の研修医であったが、すっかり外科系の研修医になりきって、暇があれば糸結びの練習をしていた。内科系の研修医も同じように外科に興味を持ち、医局の中は糸結びの残骸だらけであった。

そのような生活習慣であったため、手術着で一日中過ごすことが多かった。新品の手術着より、洗いざらしの方が当直室を利用している人には人気があった。

手術室のロッカー室には「手術着の持ち出し禁止」と貼り紙をされた。管理していた麻酔科の部長は、研修医の生態を理解していたためか、あまりうるさいことを言わなかった。しかし、手術室の婦長には、よく寝巻きがわりにしているのを怒られた。

病院からほとんど出ることなく、気がついたら春から冬に変わっていた。冷暖房が完備された病院の中で、暑さを感じることがなく6カ月が経っていた。

私にとって、厳しかったが懐かしくもある研修医生活であった。不器用な自分には外科医になることは無理だと諦めたことを、夏が来れば思い出す。

少々の暑さは、周りに迷惑をかけたことでヒヤリとしたことを思い出すと、今でも冷や汗が出る。

人はいさ

灘区　中井　裕

近畿探勝会の人たちと比叡山横川へ吟行した。坂本からのケーブルの窓から無動寺の下辺りを注意深く見たが、山深く何も分からなかった。

阪神・淡路大震災の後、俳句を始めた。芭蕉が西行を尊敬しており、目崎徳衛先生の「西行」を読んだ。また、彼は「紀貫之」を伝記の一冊もないなかで書いたと述べていた。

紀貫之の「第四版追記」があって、近年、貫之や古今集に対する明治以来の否定的評価に対する根本的反省は、詩人・評論家の中から澎湃（ほうはい）として起こり、国文学界の認識もまた、従って改まりつつあるかに見える。

大岡信氏の好著「紀貫之」（日本詩人選）などは、まさに紀貫之復権の宣言であろう、と書いている。

3冊とも好著で、面白かった。目崎氏の本に比叡山の紀貫之の墳墓の写真がある。高さ2尺5寸、幅・厚さ各6寸で、表面に（木工頭紀貫之朝臣之墳）の文字がある。

表題の〈人はいさ心も知らずふるさとは花ぞむかしの香ににほひける〉貫之の有名な和歌で、女主人との恋のやりとりのような感じがする。

西行も弟子の蓮阿に古今集をよく読み、鑑賞するように言っている。

紀貫之は「土佐日記」で有名であるが、最近「伊勢物語」の作者に擬（ぎ）せられている。彼の歌の物語性、虚構性、詞書の面白さなどから、いろいろ想像されるのだろう。

やはり、古典は奥が深く、魅力に溢れている。

炎天や白熊池に水しぶき

青裕

北阪神支部　特別研究会

感想文

原爆症裁判から知る国の無責任さ

北阪神支部は7月16日、宝塚商工会議所で、宝塚医療生活協同組合と共催で、特別研究会を開催。協会副理事長・東神戸診療所所長の郷地秀夫先生が「原発事故と内部被ばく～被ばく者医療の経験から」をテーマに講演。会員・市民ら116人が参加した。感想文を紹介する。

被ばく者医療の経験から講演した郷地先生

折しも世間では「放射性セシウムを含む稲わらを与えていた肉牛が、抽出検査をすり抜け、食肉として消費者の口の中にまで届いてしまった」と連日、ニュースになっておりますが、誠に恐ろしい話です。

しかし、そういうことをあまり言うと風評被害がどうなどと言う人がいますが、風評被害を言うなら、政府は食品の全品検査をして、国民に安全を宣言するべきです。

それに、まず政府は最初の会見で「風評被害を含めて補償をする」と言っておりましたが、国民は、そんなことを信用していないと思います。30キロ圏内の補償ですら、怪しいと思っているでしょう。

今回のご講演で、いろいろと情報操作があったのではないかと考えていたことが、確信に変わることになりました。

測定しないアルファ線、ベータ線、中性子線。日本の報告を過大評価したIAEA。プルサーマルの報告のない日本政府のIAEA報告。メルトダウンの発表に2カ月…など書きだしたらきりがないくらいです。

郷地先生は、原爆症裁判のお話もされました。そこで、爆心地からの距離でだけ判断されて、内部被曝を認めない国の態度を知りました。これは、今後福島の方々にがんや白血病などが増えた場合などにも、内部被曝というものを認めない主張をする、将来の国の姿も知れません。

最初の会見で言った「風評被害を含めて補償をする」とはほど遠く、全く違うことを将来国がするという、ある意味の啓示です。

伊丹市・歯科　工藤　大八郎

テーマ②　自由題　つづき

六甲アイランドでタブノキの食害調査

西宮市　法西　浩

今年6月19日、六甲アイランドへ、街路樹タブノキを食害するホシベニカミキリの探索に訪れた。

実は、今年2月11日、三田市の「県立人と自然の博物館」主催で、環境、自然観察などをテーマとした、住民の研究発表「第6回共生のひろば」が催された。この日、3人の調査の発表を聞いた※1。

2010年6月6日の一日、3人が各地を回り、114個体を採集し、調査したタブノキ71本中56本（79%）が食害されていたという。

この報告を追跡するため、タブノキの多い神戸国際大学とマンション「イーストコート7」周辺を主に調査した。ホシベニカミキリの生態（写真①）、激しく食害されたタブノキ（写真②）を観察し、3オス8メス・計11個体を採集した。

ホシベニカミキリは、南方系で関東以南に生息し、体長18～26ミリ、暗赤色地に左右非対称の黒い斑点のある派手なカミキリムシである※2（写真①）。タブノキも南方系のクスノキ科で、近年街路樹に用いられ、よく育っている。六甲アイランドは、1972年に着工された人工島で、いろいろな木が植栽されている。

さて、ホシベニカミキリの被害はいつまで続くのか。植栽管理者の話では、住民がいるので、殺虫剤はまいていないという。写真①でみるように、皆様お元気。また、幼虫が樹内に潜んでいる樹木（樹液が出ている）が多いので、食害はまだまだ続きそうだ。

①

②

写真①・ホシベニカミキリの交尾。成虫に食害された樹皮に止まっている。写真②・ホシベニカミキリにはげしく食害されたタブノキ

〈参考文献〉
※1　中安慎太郎ほか（2011）「六甲アイランドに植栽されたタブノキを激しく食害するホシベニカミキリ」共生のひろば6号、15―16、県立人と自然の博物館発行
※2　林匡夫ほか編著（1984）「原色日本甲虫図鑑Ⅳ」、㈱保育社

核廃絶呼びかけ平和行進

協会役員が多数参加

平和行進への激励

～7月8日、伊丹市役所前で

伊丹市　小泉　勇

今年も七夕さんと同じ、1年ぶりに元気な皆さんでお会いして喜んでいます。

しかし、今は東北で原力発電所が世界最大級の事故を起こし、地域の人々の健康と生活が悲惨な状況に追い込まれています。

元来、戦後間もなく、アメリカの原子力潜水艦の動力源として開発された原発が、アメリカ軍事産業と日本の電力を中心とした大企業の思惑によって日本に導入されたものゆえ、事故など不測の事態に配慮されたものではなく、人間を含めた生き物の遺伝子を傷つけ、がんを発生させる放射線をまき散らすのを止める技術を持たぬまま、拡大されてきたものです。

今年は、私たちは原発をなくす―悪魔が出す排泄物をなくす運動も始めないといけないかもしれません。

しかし、根源である悪魔の兵器・核兵器が、今も世界中の平和愛好の人々の心に恐怖の圧力を加え続けています。

市民の力で一日も早く核兵器をなくすよう、今年も原水爆禁止世界大会を成功させましょう。

核兵器をなくそうと訴える小泉先生（右）

核廃絶を求め全国の核兵器廃絶を求め全国の市町村を練り歩く「原水爆禁止国民平和大行進」が、7月7日に川西市から県内入りした。協会からも、武村義人・加藤擁一両副理事長、小泉勇・樫林義雄両理事らが、それぞれの地域で行進に参加した。

平和行進は1958年から毎年開催されており、全国の市町村を結び、行進距離は8千キロ以上におよぶ。今年も5月6日に東京を出発し、8月上旬に開催される原水爆禁止世界大会の開催地である広島をめざして、炎天下でも雨の日も休むことなく歩き続け、核廃絶を訴えている。

小泉理事は、7月8日の伊丹市役所出発のあいさつで行進参加者を激励した。

武村副理事長は、7月10日の神戸市役所から県庁までの行進に参加。出発前のあいさつでは「いよいよ沖縄の普天間基地県内移設が不可能なことが明らかになりつつある。私たちの運動で、米軍基地の国外移設を実現させよう」と呼びかけた。

加藤副理事長は同日に県庁から須磨区内までを行進。樫林理事も、手作りの「平和」の旗を掲げて、医院のスタッフとともに明石市内を行進した。

平和行進は、8月4日に広島に到着する予定。

（上）市役所前を歩く武村副理事長（中央）
（左）樫林理事（右）は医院スタッフと

協会の団体定期生命保険

グループ保険

昨年度配当は42%
過去17年連続配当！

■ 毎年剰余金を配当　2010年度は42%、2009年度50%、2008年度46%
■ 団体保険だから断然安い保険料
■ 最高5000万円の高額保障
■ 配偶者1000万円のセット加入あり
■ ライフプランに合わせていつでも増額・減額できます
■ 医師による診査はありません

病気やケガによる休業に備えて。自宅療養も補償される制度です。

所得補償保険

うつ病等の精神障害による就業不能も補償／入院は1日目から、自宅療養は5日目から補償
ご家族、スタッフも加入いただけます

お問合せは共済部まで　☎078-393-1805

第20回日常診療経験交流会プレ企画

安齋育郎先生市民公開講座　福島原発事故による放射能災害と私たちの生活

日　時　10月8日(土) 17時30分～19時30分
会　場　県農業会館11階大ホール　　定　員　400人（要事前申込）
講　師　立命館大学名誉教授・国際平和ミュージアム名誉館長　安齋育郎先生
（専門は放射線防護学）

お申し込み・お問い合わせは、☎078―393―1803まで

テーマ② 自由題 つづき

宵待草

灘区　岡本　好司

美人ぞろいの小学校同級生の中で、ひときわ目立つ美人歌手がいた。大昔の同級会で、皆で歌を強引に懇願した。発声練習もしないで歌うのは嫌だと言いながら、彼女は「宵待草」を歌ってくれた。第一声から度肝を抜かれた。それは、「まーてーどくーらせーど…」ではなくて、口を大きく開けて「むぁーとぇーどくぅーらせぇど…」と、綺麗なソプラノであった。感銘し、今でも語り草になっている。この彼女、「美人薄命」のことわざ通り数年後、宵待草の花のように、儚くこの世を去った。

この「宵待草」の詩は、文献によれば、叙情画家・竹久夢二の1913年の処女詩集『どんたく』に掲載の3行詩。宮内庁雅楽部多忠亮が1918年に作曲。1938年、同名の松竹映画の主題歌として、主演女優の高峰三枝子がこの歌を歌った。その時、1番だけでは寂しいので、2番の歌詞が西條八十によって補作された。

「宵待草」という草花は実際には存在せず、オオマツヨイグサのこと。海辺、河原に野生し、花は黄色で夕方に咲き夜明けとともに萎み、赤くなる儚い花である。花そのものの楚々とした印象とは裏腹に、根や茎にはたくましい生命力を秘めている、とあった。

もう一人、「宵待草」で思い出す女性がいる。友人の姉上で、私どもが雑談をしている時に入ってこられ、突然、真顔で「私、長生きできないわ」とのたまった。一同驚いて「何か持病でもおありですか」と尋ねたところ、「だって、美人薄命って言うでしょう。だから私『宵待草』のようにね」と、思いつめた表情で喋られた。長い沈黙が続いた。

同級生は早逝したが、その姉上、「宵待草」の根のように今もご健在で、今年米寿を迎えられた。なぜかこのお姉様には、いつも年賀状を出している。今年の年賀状には、「謹賀新年　美人薄命は死語となりました　米寿おめでとうございます」と記した。

待てど暮らせど　来ぬ人を
宵待草の　やるせなさ
今宵は月も　出ぬそうな

暮れて河原に　星一つ
宵待草の　花の露
更けては風も　泣くそうな

夏が来た。

川西市　宮本　星也

今年の梅雨は、2～3週間早く明けた。本格的な夏に入ると、枯れ枝同様の木々が緑の葉に覆い尽くされる。台北市で生まれ、当地で11歳まで育った私は、冬の枯れ木が夏に緑に茂るのが、当時不思議でしようがなかった。

7月の鈴虫と熱帯魚の食欲旺盛なことは、びっくりするぐらいだ。以前、1日1匹ずつ死んでいった熱帯魚も、近頃は要領が分かったので、そんなに手を加えることなく、2～3カ月に1匹くらいになった。

鈴虫は30年くらい前から継代飼育しているが、約20%は毎夏外来種を入れる。昨年の夏のエッセイに、ランの土を入れ替え、冬はいっせいに咲くだろうと書いたが、毎年20%は咲いていたが、ひとつも咲かなかった。こんなひどい仕打ちを受けるとは思わなかった。根を触られることをランは嫌うということは知っていたが、20年前も同じことがあった。

クンシランだけは、これは土を替えなかったが、大きな1人でやっと持てる鉢二つに、それぞれ10本くらい咲く。

待合室に置いておくと、患者さんが「どうしてこんなのができるのか」と聞いてくる。クンシランは冬の温度や風通しに比較的鈍感なのではないかと思う。

私は乗り物がだめで、従って旅行はだめだ。行ったらまた帰って来なければならない。

尼崎・塚口病院の統合と新病院建設

尼崎市　綿谷　茂樹

尼崎支部では「県立塚口病院の充実と尼崎市及び阪神地域の医療を考える会」（代表・畠中正昭協会評議員）に参加している。

兵庫県は2010年12月21日に、県立尼崎病院と塚口病院の統合再編基本計画を発表した。場所は市立尼崎産業高校跡敷地3万5千㎡。

今年7月には新病院の設計図もできている。バス停を構内に引き込み、駐車場も広く設計されている。新病院の規模は730床、総合診療科とER救急が連動して、救急患者をすべて受け入れる予定とのことである。

両病院の跡地は売却される予定であるが、「医療機関や福祉施設の誘致に努める」と基本計画に記載されている。

建物がまだ新しい尼崎病院の跡地は、神戸中央市民病院の跡地と同様に医療と介護福祉の入った施設になる可能性が高い。しかし、塚口病院の建物は取り壊される。

私たちは、「統合新病院を退院したものの病状が安定せず、自宅には帰れない患者さんのための亜急性期病院を両病院跡地に設置してほしい」と訴え、これからも引き続き運動をしていく。

『続・英語で診療』『続々・英語で診療』出版しました

西宮市　坂尾　福光

2007年12月に『英語で診療』（金芳堂）を出版しました。そのシリーズとして、『続・英語で診療』『続々・英語で診療』2冊が同時に出版されました。今回も金芳堂から各CD1枚付きの出版で、前回同様Robert Conroy氏と私の共著です（各2600円＋税）。

『続・英語で診療』（海外でクリニックに行く前に）が基礎編です。一般の方、または患者さん・家族が、海外旅行や中長期英語圏の海外滞在などの折に便利な海外医療情報です。予防接種、ワクチンの情報、海外の大使館・領事館、渡航時の診断書・紹介状、外来に電話、薬局に行く・薬局での会話、薬の情報、体の部位の呼び方などです。

『続々・英語で診療』（患者に伝える症状の訴え方）が臨床編です。実際に海外のクリニック、病院の外来で受診する折の、6行ほどの短く簡単なダイアログ（対話）です。医師の問診のコツ、患者さんの症状の訴え方などを症状ごとにまとめています。発熱、頭痛、眼科、呼吸器科、歯科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、産婦人科、小児科です。

タイトルは前述の如くですが、今回の内容は、以前の医師・メディカルスタッフを対象にした『英語で診療』と立場を180度変えて、一般の方々が英語圏の海外でクリニックを訪れる場合の〝英語の医学書〟としてもご利用いただけます。

日本で、われわれfamily doctor（かかりつけ医）も、今後海外渡航に際して患者さん・ご家族からいろいろな相談を受ける（予防接種、診断書、紹介状など）機会が増えると思います。相談を受けた折に、患者さん・ご家族および一般の方に先生方から〝英語の医学書〟として勧めていただければ喜んでいただけるものと思います。

予防接種、診断書、紹介状などに関する様式（雛形）は、金芳堂からダウンロードして利用することができます。

医学専門書店、全国大手書店（紀伊国屋、ジュンク堂、旭屋書店など）およびアマゾンなどのネットで購買可能です。

レセプトの返戻情報を皆で共有しませんか？

伊丹市・歯科　工藤大八郎

歯科の診療は日進月歩。CT、マイクロスコープ、CAD、ホワイトニング、レーザー治療、インプラント治療など、保険適用しにくい機器や治療が増えましたが、それでも大切にするべきは、国民のため、公衆衛生の向上のため、保険診療であると思います。

今、兵庫協会では、副理事長の川西敏雄先生、理事の川村雅之先生を中心に、レセプトの請求に関する研究会を行っております。赤色表紙の保団連発行『歯科保険診療の研究』をテキストに、1章ずつポイントを解説しながら、返戻事例や、新規指導での指摘事項など、みんなで勉強しております。

例えば、ちょっと前によく返戻があった事例を紹介しますと、レフトーゼ錠の投薬に対する返戻でした。私自身、新人のころ、先輩先生方に注意された通りの内容の返戻でした。

私が新人だったころ、埋伏歯の抜歯の後、ケフラール、ロキソニン、レフトーゼと何気なく投薬しておりましたら、先輩に「レフトーゼは、そんなmgを出してはいけない。かえって治癒が遅れるだけでなく、ドライソケットなどリスクが増大する」と言われました。

そうなのです。レフトーゼは炎症止めですが、歯槽膿漏症の治療薬なのです。つまり、歯槽膿漏には180mg～270mg（力価）が必要なのです。

返戻の内容は歯槽膿漏なら出すmgが少なすぎるとのことでしたが、抜歯にはこれは強すぎるのです。炎症を抑え過ぎては治癒が悪くなるので、もっと少ない量でないといけないのです。

いろいろ意味を理解すると分かることがあります。それに返戻には、その時々の注目すべきことがあるようです。

そういった意味で、レセプトの返戻の情報をみんなで共有することが大切なのです。

研究会は参加無料です。ぜひ参加ください。

タイタニック号

姫路市　西川　実徳

タイタニック号も沈んだ。医療安全教育の中、絶対的なものが存在しないことの例えとして登場する。

わが子が学校でいじめを受けたが、管理責任の欠如により被害が大きくなった。当時の担任教諭は、9年経ったため同じ市内の他の学校に転任してしまい学校部外者だと、小学校の校長から回答を得た。

いじめの内容は、清掃時に机を運んだり触ったりしてもらえない、無視をする目線、隣の席に来ると机を離すなど、女子児童独特な陰湿な内容であった。

やっと親が気づき学校へ連絡して4日経っても、いじめの事実は確認されていなかった。そしてゴールデンウィークに入り、学校とは連絡がとれなくなった。

家の中の灯は消えてしまった。ゴールデンウィークが明け、何度も話し合った。納得できないまま相手の親子と話し合ったが、最後には「娘は思春期である」とか「過ちは誰にでもある」と、加害者の親が述べて話し合いが終わった。

あと1年足らずで辞める校長、9年で転任した担任。医療の世界と違い、わが市の教育委員会の指導はなっていない。誰にでも過ちはある。だからどうすればよいか。誰にでもヒヤリハットはある。だからどうするのか。医療の世界の常識と姫路市教育委員会の常識とは全く違う。

市民公開講座

どうする？米軍基地問題

～日米安保の是非を超えて～

日　時　9月23日(祝・金)14時～
会　場　県農業会館11階大ホール
講　師　前宜野湾市長　伊波　洋一氏
　　元官房副長官補(安全保障・危機管理担当)　柳澤　協二氏
コーディネーター
　　石川　康宏氏（神戸女学院大学教授）
参加費　500円
主　催　兵庫県保険医協会、兵庫県民主医療機関連合会

お申し込み・お問い合わせは、☎078－393－1803　まで

協会が6月11日に開催した原発問題学習講演会「福島第一原発事故の真実」の講演録を掲載する。

小出裕章氏　講演録

事故の真実

東京電力福島第一原子力発電所で、信じられない事故が進行している。今何が起こっているか、お話したい。

チェルノブイリ原発事故

まず、1986年4月26日、旧ソ連のチェルノブイリ原発で起きた事故から話す。この事故は、福島とよく似た形で原子炉が壊れ、放射能が外部に漏れた。

事故を起こした4号炉は、ソ連の最新鋭原子炉だった。「大変安全で、モスクワの赤の広場に建てても大丈夫」と聞かされ、国民も周辺住民も信じていたが、2年の運転後に爆発した。

60～80万人と言われる軍人・労働者がソ連全土から呼び寄せられ、事故の収束作業に当たり、被曝した。

チェルノブイリの原発事故で、放出された放射能を示したのが、**図1**だ。

左下にある小さな四角は、広島原爆で燃えたウランの量。原発は右の濃い色の四角。日本でも標準的になった100万kWの原発1機を1年間運転させた場合にできる1トンの核分裂生成物を示している。

チェルノブイリ原発は出力が100万kWで、約2年間順調に動き、定期検査のため停止作業を続けていた。大きな四角のほぼ2倍に相当する核分裂生成物を炉内に溜め込んだ状態で、事故が起き、広島原発800発分にあたる放射能が環境に撒き散らされた。

「広島の原爆投下後には草木1本生えなくなると言われたが生えた。原爆・放射能汚染は大して怖くない」と言われるが、原発事故で放出される放射能は、広島原爆と比較すると800発分。また、原爆で放出された核分裂生成物は、きのこ雲という形で上空に吹き上げられ、地球全体に汚染を広げたが、原発は、噴き出した放射能が地を這うように汚染していくため、周辺が猛烈に汚染される。

チェルノブイリの汚染は世界中に

ソ連政府が、約3年後に公表したチェルノブイリ原発周辺の汚染地図が**図2**。

事故当初は東風で、放射能は西側のヨーロッパを汚染した後、南風に変わり、さらに西風が東へ汚染を広げた。日本にもたくさんの放射能が飛んできて「地球被曝」と言われたほど、世界中に汚染が広がった。

地図で色が塗られた部分は、放射線管理区域にしなければならないほど汚染を受けた地域だ。

放射線管理区域は関係者以外立ち入りが許されない。私は原子炉の研究をしているため管理区域に入るが、中で飲食することはできない。むやみに医師が患者を入れることもない。

ソ連政府は、30km圏内の13万5千人を避難させたが、事態を小さく見せようと「ちょっとした事故が起きたので、3日分の手荷物を持って避難しなさい」と説明した。約3カ月後、200～300km離れた地域にも猛烈な汚染があると気づき、その地域の20数万人を強制避難させた。あわせて約40万人が避難した。

数百km離れた汚染地帯が生じた理由は、雨だ。井伏鱒二氏の『黒い雨』で書かれたのと同じように、雨が濃密な汚染を作り、放射線管理区域にしなければならない地域は700km先まで広がっていた。

すべては風向きで決まった。福島原発は神戸から700km離れているが、風向きによれば、神戸も放射線管理区域になるほどの汚染を受けることはありうるということだ。

チェルノブイリ原発周辺がどうなったかが、広河隆一氏の写真集「消えた458の村」におさめられている。強制避難させられた村々で、住む人がいなくなった家が次々と朽ち果てていく様子が撮影されている。

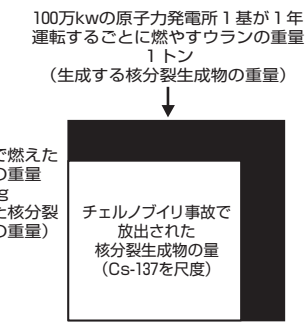


図1　放出された放射能

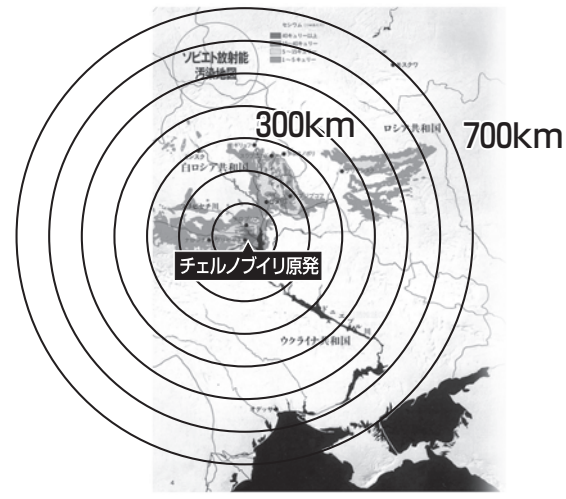


図2　チェルノブイリ周辺の汚染

原発の原理と構造

原発は一言で言うと、湯沸し装置だ。200年前にジェームス・ワットらが発明した蒸気機関の仕組みを、現在の火力発電所も原子力発電所も使っている。

火力発電所は、石炭・石油・天然ガスを燃やして水を沸騰させ、蒸気でタービンを回して、発電機で電気を起こす。

原発の原理も同じ。原発には、原子炉圧力容器と呼ばれる鋼鉄製の巨大な圧力釜がある。直径が約6～7m、高さ約20mで電車1台を縦にしたような大きさで、その中にウランを詰めた燃料棒が並べてある。ウランを核分裂させ、出てきたエネルギーで水を沸騰させ、電気を起こす。

膨大な量の核分裂生成物ができるため、原発は都会には建てられず、東京電力の発電所を福島県に作って、長い送電線で東京に電気を送ってきた。

冷却続けねば壊れる原子炉

3月11日、地震に襲われ、福島第一原発は自動的に停止した。この「停止」とは、ウランの核分裂反応そのものを止めること。圧力容器に制御棒というものを差し入れ、中性子を制御棒で吸収することで行う。

「これは成功した」と東京電力は言っており、私もおそらくその通りだと考えている。

しかし、原子炉内で発熱している物理現象には、ウランの核分裂反応のほかにもう一つ「崩壊熱」と呼ばれる現象がある。

ウランが核分裂すると膨大な核分裂生成物を生み出す。核分裂生成物は、放射線を出すエネルギーの塊で発熱体になっている。これが原子炉の炉心内に大量に溜まっているので、核分裂反応を止めても、核分裂生成物自身が出す熱「崩壊熱」が続いている。

福島第一原発1号機が止まった後、崩壊熱がどう続くか。1号機の出力は46万kW。今日標準的な100万kWに比べると、比較的小さな原子炉だが、止めた直後でも発熱量は10万kWあり、家庭で使用する電熱器やホットプレート10万個分になる。

1日経つと、崩壊熱は10分の1以下に減る。しかし、2・3日経ってもそれ以上減らず、140リットルの水を1分間で蒸発させるほどの熱が出続ける。

すさまじい発熱が続くため、水を供給し、冷やし続けなければ、原子炉が溶けて壊れてしまう。

格納容器は「絶対壊れない」

それでも政府・電力会社は「原発は周辺環境に放射能を出すことはない」と言ってきた。例えば、中部電力のホームページでは「放射性物質を閉じ込める五重の壁」が説明されている。

まず、燃料のなかに入っている「ペレット」。これは、直径・高さ1cmの大きさのウランを焼き固めた瀬戸物で、ウランが核分裂してできた核分裂生成物はそのままペレットの中に閉じ込められる。

そのペレットは「燃料棒」という金属製のパイプに閉じ込められ、燃料棒は「原子炉圧力容器」という鋼鉄製の容器の中にあり、外側には「原子炉格納容器」が、さらにその外側に「原子炉建屋」がある。だから「放射能は出てこない」。これが電力会社の主張だった。

特に一番重要な防壁が、原子炉格納容器だ。「格納容器が健全ならば、放射能は外に出ることはない」として、国・電力会社は「いついかなるときでも安全だ」と言い続けていた。

原子炉を建てるとき、「法律で決めた原子炉立地審査指針にのっとって重大事故を考え、周辺に放射能が出るかどうかをきちんと考える」と国は説明してきたが、この「重大事故」でも、格納容器だけは絶対に壊れない想定だった。

格納容器が壊れるような事故はというと、「想定不適当事故」であると烙印を押し、「原発は安全だ」と言ってきた。それで事故が起こったら「想定外」と言う。ひどい話だ。

電源喪失が事故招いた

地震後に何が起きたか。

福島第一原発の炉心の中と、格納容器の隣にある使用済み燃料プールにある核分裂生成物の崩壊熱の冷却に失敗した。

燃料棒をつくるジルコニウムという金属は、850度を超えると周りの水と反応し、水素を出す。一度反応が始まると、どんどん温度が上がり、周りの燃料棒も反応し、大量の水素が出る。

1～3号機は、炉心のなかの燃料冷却に失敗したがために、大量の水素が発生し、格納容器の損傷部分から外に出て原子炉建屋のなかにたまり爆発してしまった。

4号機の爆発原因はまだ不明だが、使用済み燃料プールにあった燃料の冷却に失敗し、水素が発生して建屋を爆発させた可能性がある。あるいは、4号機は、3号機と一体の換気装置を使っていたため、3号機建屋を爆発させた水素の一部が4号機に回ってきて、爆発したという推定もある。

いずれにしても、原因は、燃料棒のジルコニウムの冷却に失敗したことだ。

冷却に失敗した理由は、発電所の全所停電だ。地震で原子炉自体が停止すると、外部から電源を受けられる想定になっていたが、送電線が倒壊し、外部から電気が送れなくなった。

その場合も、発電所敷地内に非常用のディーゼル発電機を複数台準備し、発電するから大丈夫と、東電は説明していた。ところが、そのディーゼル発電機が、今度は津波に襲われ使えなくなってしまった。結局いかなる電源もなくなり、原子炉を冷却できなくなって爆発を導いてしまった。

周辺で続く大量の被曝

この事故で、どれだけの放射能が放出されたか。

1号機の水素爆発直後など、ときどき放射能の値が急激に上がり、16日まで猛烈な放射能が環境に放出されてきた。3月末頃からはずっと低下してきている。

放出された放射能が環境を汚染して、少しずつ核分裂生成物の寿命に従って放射能の強さが低下していることを示している。

日本政府は、事故を何とか小さく見せようと、データはなるべく公表しないでおこうとした。

最も端的な例は、SPEEDI（緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム）という計算構造だ。これは、原発事故が起きた際、放射性物質がどの方向にどれだけ流れ、どれだけの被曝量になるはずか解析して政策・防災に生かすため、25年の歳月をかけ、100億円超を費やして開発された。

ところが、事故発生時、政府はこれを一切秘密にした。放射能が大量に噴き出している3月中頃、SPEEDIは全く使われず、住民への防災はなされないままで、ずっと後になって計算結果が発表された。

図3は、SPEEDIの甲状腺の内部被曝線量評価で、1番濃い部分は1万ミリシーベルト、つまり10シーベルトの被ばく線量。外側に行くに従い、5千、1千となり、点線のところで5百、一番外側は100ミリシーベルト。

このような被曝が起きるなら、少なくとも子どもにはヨウ素材を与え、甲状腺の被曝をブロックしなければならない。しかし、実際は何もせず、子どもたちを含めて被曝させてしまった。

大量の放射能の大気中への放出は、3月中頃で今のところ収まっているが、大地に降り積もった放射能からの被曝は長期にわたる。

事故当初はヨウ素131（半減期8日）という放射性核種が主要因の被曝だったが、それがなくなった後はセシウム134（半減期

（7面へ続く）

京都大学原子炉実験所
福島第一原発

京都大学原子炉実験所助教　小出　裕章氏

1949年生まれ。東北大学原子核工学科卒、同大学院修了。74年、京都大学原子炉実験所助手。専攻は放射線計測、原子力安全。伊方原発訴訟住民側証人。著書「放射能汚染の現実を超えて」他

（6面の続き）

2年）、セシウム137（半減期30年）が大地を汚染しており、被曝量が減らない。

直線距離で70～80㎞離れていた福島市や郡山市でも、2マイクロシーベルト／時という外部被曝線量から下がらない。普通の日本の環境（0・05～0・1マイクロシーベルト／時）に比べ、20～40倍の被曝が続いている。

浪江町・飯舘村・川俣村といった40～50㎞の範囲では、さらにすごい被曝が続いている。5月20日現在も、10マイクロシーベルト／時から減らず、スポット的に強度の汚染地帯が存在している。そういう場所に住民が取り残され、子どもも含めて被曝し続けている。

原発周辺は今、どうなっているのか。防護服を着てマスクをしながら、牛にえさをやりに行っていた酪農家の方。放射能で猛烈に汚染されているため、運び出すことすらできず、玄関横に放置されたままの遺体。一時帰宅の際、防護服を着てマスクをし、遺体をその場で荼毘に付して何時間かで逃げてきた住民。

「原子力　正しい理解で豊かな暮らし」。原発が建っている双葉町には、こんな看板がある。大変皮肉なことに、彼らの言う「正しい理解」のせいで町が失われてしまった。

福島県の面積が放射線管理区域

図4は、5月末に文部科学省が公表した汚染地図。半径20・30・60・80キロの円があり、80キロには、福島県だけでなく、宮城県も茨城県も含まれる。

SPEEDIの計算結果、放射能は南西と北西の方角に流れたと述べたが、地表の汚染もこの通りの結果になっている。

3月中頃、1号機・3号機と爆発が続いて大量の放射能が出てきたとき、南西方向に風が流れ、東京まで濃密な汚染が広がった。東京・金町浄水場で供給された水道水から、政府の基準を超える汚染が検出され、当日降った雨からは、水道水の100倍・1000倍の汚染が検出された。

もっとひどい汚染が生じたのは、北西方向。30㎞以上離れた飯舘村が、ものすごい汚染を受けている。

西側に60㎞の円近くまで広がっている薄い色の部分までが、チェルノブイリ原発事故で強制避難させられたような汚染の地域。面積は約1300㎢で、琵琶湖の約2倍の広さだ。

実は、もっと外側にも汚染が広がっている。日本の法令に従えば、放射線管理区域にしなければならないような汚染が、福島県内だけでなく、宮城県・茨城県の一部にも広がり、福島県全域に匹敵する面積を無人地域にしなければならないほどになっている。

政府は、事故発生当初、原発周辺3㎞の住民に、「万一のことを考えて避難しなさい」と指示を出した。住民は、すぐに帰れるかと思い避難した。しばらく後、政府は10㎞圏内の人々に避難指示を出した。そのときも「万一のことを考えて」と言い、今度は、20㎞の人に避難指示を出す。皆帰れなくなった。

30㎞圏内の人には「自主避難」と指示を出した。「自主的に」と言われた住民はどうしていいか分からず、いまだにたくさんの人が住んでいる。

30㎞より外側でも、猛烈な汚染を受けたことが分かった飯舘村は「計画的避難区域」。避難計画を村が立て、全村離村しろといっている。

しかし本当は、それだけでは到底すまない。

6月の今も、原発周辺には被曝量が20ミリシーベルト／時を超す地域がある。この被曝量は〝放射線業務従事者〟である私が「1年間にこれ以上被曝してはいけない」と定められている限度だ。そんな限度を一般の人、特に子どもに許してはならない。

しかし、本来許してはならないはずの限度を認めなければ、どうにもできないほど汚染が広がってしまった。10万人規模の人たちが避難を強制させられ、日本の法律を厳密に適用しようとすれば、何百万人を家から追わなければならない。

そんなことはとてもできないだろう。

そんな深刻なことが起きていると、政府は、日本のマスコミは、みなさんに伝えているだろうか。

溶けた核燃料漏出防止を

政府・東京電力は、「原子炉はメルトダウンしてしまった」と言っている。

それが本当か私にはわからない。東京電力が公表するデータ自体がころころ変わっているが、東京電力の「すでに原子炉はメルトダウンしてしまった」という主張に沿って、これからどうなるのかを説明する。

メルトダウンとは、「原子炉圧力容器内の炉心がすでに溶けてしまった」ということだ。炉心であるウランの瀬戸物は、2800度にならないと溶けない。しかし、崩壊熱が出続けているので、冷却できず溶けてしまった炉心が圧力容器の下に流れ落ちてくる。

圧力容器の底には、下から制御棒や計測系など、たくさんのパイプが突き通っている。圧力容器は16㎝の厚さの鋼鉄製だが、鋼鉄は1400～1500度で溶けてしまう。鋼鉄の容器自身が溶け、パイプが通っていた部分は弱いためどんどん突き抜けていく。

その先は、格納容器。これは厚さ3㎝の鋼鉄製の外側にコンクリートが埋めてある。真ん中に原子炉圧力容器を支えるためのコンクリートの支持構造部があるが、溶けたウランはこの下に落ち、人が出入りするために空けてある部分から流れ出て、鋼鉄の鉄板にたどり着く。ここがやぶれるともう防げない。溶けたウランの塊が次々と地面に沈んでいく。これが現在推測されているシナリオだ。

東京電力はロードマップというのを作り、原子炉を冷温停止させるまで6～9カ月かかると言ってきた。

私はもともと、そんな短期間では無理だと指摘していたが、すでにメルトダウンが起こっているならば、冷温停止どころではなく、何の打つ手もない状態に移ってしまっている。

菅首相は「一時的な収束を見たならばやめる」と言ったが、そんなことはありえない。永遠に首相のままということになる（笑）。

これからは、原子炉建屋自体を石棺というチェルノブイリで作られたような構造体で覆って、溶け落ちる核燃料が漏れないよう、少しでも食い止めることしかできないのではないか。

溶けた燃料は地下にもぐっていく。私が一番恐れていた、放射能が爆発的に大気中に出てくる破局的事故は防げるかもしれないと少し期待するようになった。東京電力が言うことが正しいかどうかわからないので断言できないが。

ただ、今後もう一度、破局的な大気中への放射能の放出が起きてしまうと、合計約500万kWの出力があった福島第一原発は、チェルノブイリより、はるかに大量の放射能を撒き散らす。この可能性が、まだありうると思っておかねばならない。

事故の重さ直視を

世界は変わってしまった。

チェルノブイリで放出された放射線量は、520万テラベクレル。福島では、保安院が37万テラベクレル、安全委員会が63万テラベクレルといっていたが、今は77万テラベクレルという評価に変わっている。

この値はチェルノブイリの約15％で、政府は「6～7分の1におさまっている」と言うが、敷地内には約80万テラベクレルの放射能を含んだ汚染水がたまっている。汚染水の量は10万トンを超え、対処できないまま、増え続けている。雨が降るたび、それが敷地外にあふれていくという危機が迫っている。

どうやって、この被害の大きさを測ればいいのか。

広大な土地が失われる。チェルノブイリの基準をあてはめるだけで1300平方キロメートルだ。

神戸では、震災で6500人が亡くなった。だが、人が住め、復興できた。

しかし、福島第一原発で汚染された土地は、もう復興できない。人が住めない土地になってしまった。厳密に日本の法律を適用すれば、福島県全域に匹敵する面積を無人地帯にしなければならない。

どうしていいか政府にもわからないため、法律自身を変えてしまった。放射線管理区域を広大にできないから、普通の人でも1年間に20ミリシーベルトまで、被曝が強制される。子どもを含め、長い時間でみれば、多くの癌死が出るだろう。

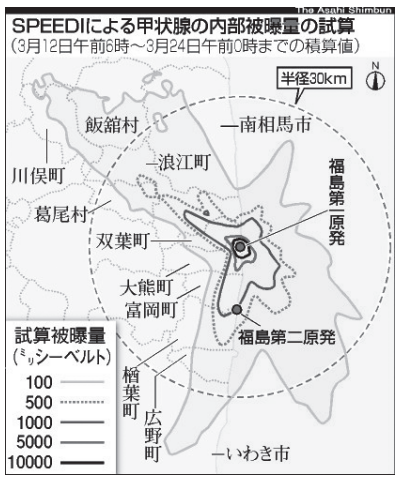
福島の農業と漁業は崩壊する。皆「汚染されたものは食べたくない」と言う。だが、放出された放射能はもう世界中を、世界中の食べ物を汚染してしまった。福島県内の農産物は大変な汚染だ。日本人が拒否すれば、福島の農業は必ず崩壊する。そうはしたくないので、私は「日本人の大人は積極的に福島の農産物を食べるべき」と主張しているが、実現できないだろう。

これらの重さをどう評価していいのか、私にはわからない。

住民の生活が崩壊する。「万一のことを考えて」と避難所に押し込められた人たちは、3カ月経っていまだ避難所に残り、家族も離散して暮らしている。この重さをどうはかるのか。

金銭で賠償しようとしたら、東京電力が何回倒産してもあがないきれないだろう。何十・何百兆円にのぼる、日本の国家が倒産してもあがないきれないほどの被害に私たちは直面している。それほどの困難に私たちが直面しているということに多くの方は気がついていないのではないか。

みなさんに、現在の状況の厳しさを分かっていただき、危機を乗り越えるための方策を考えていただきたい。少なくとも、原発をこれからどうすべきか、考えることが必要だ。



SPEEDIによる甲状腺被ばく評価

大気中に放出された放射能
^{131}I：3～5×10^{16} Bq
インベントリーの1％程度

広範な地域で甲状腺被曝線量が500mSvをこえた。しかし、よう素剤の投与はなされなかった。

図3　SPEEDIによる甲状腺被ばく評価

チェルノブイリ事故の避難基準を適用すれば、琵琶湖の2倍、日本の法令を厳密に適用すれば、福島県全域に匹敵する地域を放棄しなければならない。

図4　セシウム134・137の地表面への蓄積量

テーマ② 自由題 つづき

だから私は脱原発

西宮市　吉岡　裕樹

河豚(フグ)は食いたし、命は惜しし、ということわざが浮かんでくる。これから電力をどうするのか、日本は大きな決断を迫られている。

福島の放射能汚染を目の当たりにして、日本中が放射能の怖さを実感している。放射能とは、これほど怖いものだったのかと日本全国民が認識したと思う。放射能被害は目に見えないし、10年20年かけて徐々に体を蝕んでゆく。

この夏は原発54基中17基しか動かない。今後、定期検査以後再稼働できない原発が増えると、来年3月には営業運転している原発は柏崎刈羽ただ1基になる。

使用済みの核燃料は、その後、数十年も冷却し続けなければならない。そのことを、福島第一原発事故が起こるまで私は知らなかった。

核燃料はどんどん使用済みになり、それは原子炉のそばに仮安置されている。最終処分地と処分方法は決まっていない。青森県六ヶ所村に国がお願いしているが、実現しそうにない。六ヶ所村が引き受けてくれたとしても、それは、その地域の住民に負担を押しつけるもので、解決とは言えない。

だから私は、脱原発。政府も与野党もこの方向に向かってほしい。

ある大物政治家が、岩盤に深い穴を掘って原発を入れたら6重の安全に守られる、と言ったが、信じない。

原発にかけている巨額の費用を自然再生エネルギー開発に使えば、太陽、風力の発電コストは下がると専門家が言った。信じたい。

福島事故は神の警告なんだ。日本人よ、原発の怖さを忘れるな、と。

復興の美名に隠れて

尼崎市　鈴木　克司

5月初旬に東日本大震災による被害総額は16兆円以上との推計が出た。福島原発事故に伴う損失はさらに拡大するであろう。

6月20日に復興基本法が成立したが、松本龍復興対策担当大臣は就任したとたん、例の失言により就任わずか9日で辞任。後任は地元選出の平野達男氏になったものの、被災地はとっくに中央政府をあてにしなくなっているのではなかろうか。

最近のテレビ報道でも、地震発生後、初期の現地情報が正確に収集されず、避難所住民に食糧すら充分届かず、県・国まで訴えに行ったのは避難所巡回診療を行った医師であったことが報道された。この医師もさぞ「県も国もあてにならない」と思ったことであろう。

復興基本法の要旨の最後に「復興特区制度」に関する記述「政府は被災地域の地方公共団体の申し出により、復興特区制度を活用する。総合的に検討を加え、速やかに必要な法制上の措置を講ずる」がある。

被災地域に復興の美名に隠れて外部の営利資本が乗り込んできて、強引に事業を展開、地元住民・事業者はカヤの外ということになり、さらには医療・福祉分野まで食いものにされないか、大いに気がかりである。

松本前大臣が村井嘉浩宮城県知事に命令口調で「漁港の集約化について県でちゃんとコンセンサスを得ろよ!」と言った時、地元住民・事業者を押さえつけようとする強引な姿勢が、早くも見えていたではないか。

フクシマの悲劇

明石市　永本　浩

甲子園での全国高校野球が、8月6日から始まる。数年前、福島県代表と山口県代表が対戦したとき、応援団同士の乱闘騒ぎがあった。

今から147年前、会津若松藩主、松平容保(かたもり)が京都守護職として、池田屋事件、禁門の変で尊攘派を弾圧し、長州藩を憤激させた。

その後、戊辰戦争で官軍は奥羽越列藩同盟軍と戦ったが、最後まで幕府軍として組織的に官軍と戦ったのが、白虎隊で有名な会津藩であった。東北地方の県庁所在地名と県名が一致しないのは(宮城県仙台市、岩手県盛岡市)、官軍に反逆したからである。

福島県は人口の多い郡山市でなく、旧城下町の会津でもない、別の場所を県庁所在地にさせられた。明治新政府に逆らった県には、国の投資開発は行われなかった。

東北地方は近代産業はあまり興らず、過疎化が進んだ。新政府は東北地方を差別した。もし、奥羽越列藩同盟軍が薩長軍を破っていたら、仙台が日本の首都になっていたかもしれない。

太平洋戦争で、仙台の陸軍第二師団はガダルカナルで2万5千人の戦死者を出した。奇しくも、この数字は今回の大震災とほぼ同数である。東北地方出身の純朴、屈強な前途ある青年が、武器、弾薬、食糧の補給もなく、マラリア、デング熱などの熱帯病や、栄養失調で死亡した。なかんずく、福島の歩兵第二九連隊は、勇猛果敢であったが全滅した。

「過疎」の状況を政治的につくっておきながら、「原発」が支配層の利益に貢献すると判断されると、手の平を返したように、「開発」という恩恵を上から押し付け、その際、危険性を隠ぺいしている。住民を愚弄している。二重の地域差別である。

核廃棄物の捨て場にしても、東北、青森県である。原発問題は地域の差別の上に立脚し、放射能汚染地・福島県は、近代日本史の柵(しがらみ)から抜け出していない。いまだに引きずっている。

有無

兵庫区・歯科　河畑　憲明

紋切り型で恐縮であるが、世の中がますます混沌としてきた感がある。

大きな原因は原発であろう。先が読めないのである。にわかな解決法は見つからない。コツコツ日常の営みを続けていくだけであろう。家康が言っていたとされる、「人生、重き荷を背負うて……云々」である。

ただ時々思うことは、隣の国へちょっと逃避というわけにはいかないのが海に囲まれたわが国であって、悲しい宿命でもある。

四つの島国の中でゴソゴソやっていけば、良いことがめぐってくることもあろうかと思って、日々、励むことであろうかな。

パンドラの箱は開けられてしまったのだ。最後に出てくるものに頼ろう。

歯科の分際、歯科医師の分際

洲本市・歯科　藤原　知

強兵と覚えた農村出の水兵さん、野菜欠乏の艦上生活で脚気に倒れて使いものにならない。

劣悪な労働の中で「女工哀史」の結核に倒れて使いものにならなくなった女工さん。

「富国強兵」「産業立国」。日本の近代化が危うい。

お上はただちに医師養成に着手し、全国に系統的に養成機関を配置した。

労働力と直接関係のない歯科は、お上からのお呼びではなく、歯科医師養成は自前で民間の手でやるしかなかった。

日本の近代化をリードした官僚は、お上として民を睥睨(へいげい)し、民間は下々として官の前にひれ伏した。

官尊民卑の社会機構は、官で養成された医師の方が民で養成された歯科医師よりも偉い、一段格上とみる謬見を呼び起こした。そして、そこに一つの諷詠を生んだ。

歯医者眼医者も医者ならば、蝶や蜻蛉も鳥のうち。

うちの子はできが良いから医者にした。できがもうひとつ、医者はあきらめて、せめて医者の端くれ歯医者にした。

本音部分での話である。

「二元論」の道を選択した近代歯科は確かに、医科と並び立つ地平で自らの価値をパフォーマンスしつつ発展してきた。

しかし、死と直接切り結ぶことのない柔和性からして迫力に乏しく、過激において自らをメジャーに演出することはなかった。

メジャーであるのに、メジャーである自己を顕示できないでいる。求心力を欠いて二流に甘んじている歯科がある、歯科医師がいる。私の夏の心象風景である。

大災害について経済学者に聞く

明石市　橋本　寛

A　規制改革推進派の経済学者(九州生まれのB型)

B　被災地の医師

A　いいか。規制を緩和して、資本も人も出入りをできるだけ自由にしろよ。無駄の排除も進めるんだぞ。

B　先生は、赤字を出し続ける地方空港は無駄だから廃止せよとおっしゃっていましたね。

A　そうだ。

B　今回の震災で空路の要になったのは、赤字の山形と福島空港だったのですが。

A　仙台空港が津波で閉鎖されるなんて想定外だったからな。

B　先生は外資の導入を強く主張されていましたが、震災後、外資の航空会社は成田・羽田便をさっさとキャンセルして逃げ出しましたね。山形・福島空港に臨時便をただちに飛ばしたのは日本の航空会社でしたが。

A　資本も人も出入りを自由にすべきだから、災害で出ていくのも自由だろ。

B　アジアから日本の看護師、介護士資格を取るための来日予定者のキャンセルもありましたし、街から外国人の姿があっと言う間に消えましたね。

A　人の出入りも自由だから仕方ないだろう。

B　先生は外国人医師が日本で自由に診療できるようにすることを主張されていますが、災害で彼らが逃げ出すのも自由なのですか。

A　うん、そうだ。

B　今後、また大災害の可能性があると言われていますが、日本は外国の資本や人に依存していて大丈夫なんですか?

A　そんなこと俺に聞かれてもわかるか。いいか、新自由主義経済学では大災害は考慮しなくていいのだ。

B　こりゃ、だめだ。

文化部　第15回初級手話学習会

～医療現場で「役立つ手話」を学びましょう～

日　時　10月6日(木)～2012年3月8日(木)まで 全15回(予定)
毎週木曜(第3木曜・祝日除く) 14時～16時

会　場　協会会議室

対象者　会員医療機関の医師・歯科医師、看護師、薬剤師、事務員など医療従事者、介護・福祉施設関係者

講　師　神戸ろうあ協会・聴覚障害者

定　員　20人(最低6人で開催)

受講料　25,000円＋テキスト代

お申し込みは、☎078－393－1817　吉永まで

「京の夏」

宝塚市　柴田　充

「ダウラギリ峰
（ヒマラヤ山脈8000m峰を展望するハイキングツアーより）」

洲本市　仲野　秀介

PhotoGallery 2011 IN SUMMER

「桜の老木と蛍」

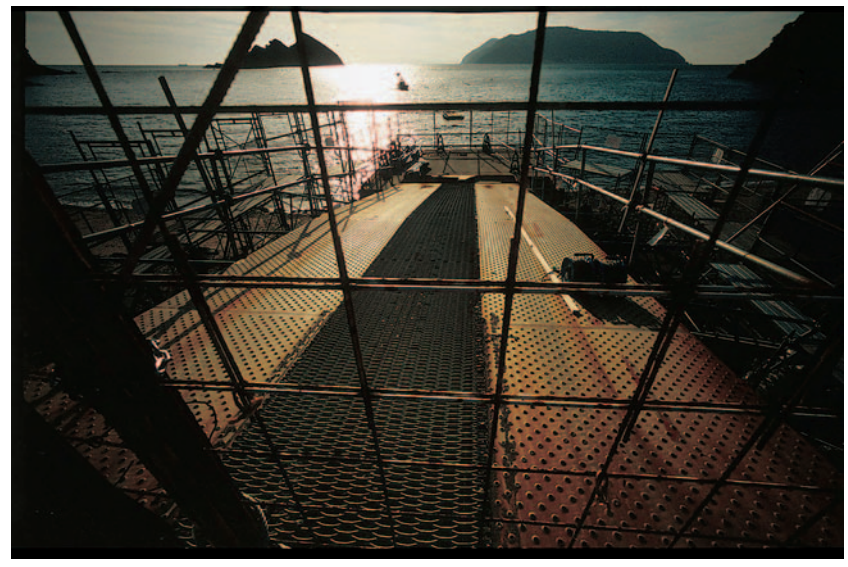
洲本市・準会員　五嶋　良吉

「なんやねん」

明石市・歯科　樫林　義雄

「マンタの舞」

尼崎市　白壁　昌弥



「落日の瀬戸内海上関原発」

灘区　山中　忍

こども病院

移転は不安の声

（12面からの続き）

「現在地は高速道路からのアクセスが早く、助かっている。救急では『あともう少しだからがんばれ』と励まして搬送している。ポーアイまでとなれば、時間のロスになる」

「東日本大震災では高台に移転していた病院が助かった。せっかく高台にある病院を、津波などが心配される埋立地にもっていくのは理解できない」「医療産業都市は、医師会が指摘しているようにバイオハザードの危険性がある。そこにこども病院をもっていくのは大問題」――。県立こども病院のポートアイランド2期への移転には、多くの不安の声が出されている。

そもそも県が「地域医療再生計画(案)」を作成したのは、国の「地域医療再生臨時特例交付金」事業に申請するためだ。同事業は予算総額210億円で、1県あたり15億円から120億円の範囲で補助金を基金に交付し、医療機関整備を進めるとしている。

しかし、「交付の条件」には、「施設整備費として2億円以上の基金が交付される医療機関については、当該2億円以上の基金が交付される医療機関全体で原則として10%以上の病床削減を行うこと（ただし病床非過剰地域である二次医療圏に所在する場合は、5%以上の病床削減とする）」「80億円を超える基金交付額を申請する事業は、病院の統合再編を行うこと」とされている。つまり、病院の統廃合・病床削減を促進するための交付金事業なのである。

兵庫県の計画では、こども病院の移転事業費は130億円で、基金から65億円、県費負担として65億円の支出を見込んでいる（表）。ただし、厚労省が基金総額を最低の15億円しか認めない場合は、基金から8億円、県費から122億円を支出するとしている。「交付の条件」からすれば、「2億円以上の基金が交付される」場合に該当し、5%の病床削減が必要となるが、計画では現在と同じ290床となっている。

計画の「作成に当っての留意事項」では、作成手順として、「官民を問わない幅広い医療機関、診療又は調剤に関する学識経験者の団体（医師会、歯科医師会及び薬剤師会）、市町村等の関係者及び地域住民に対して意見を聴取すること」としている。

県は今年2月18日から3月3日までの間に、市町・関係団体へ文書で移転について照会し、そのうち6団体から12件の意見・提案があったとして「意見・提案募集結果」をまとめている。しかし、その内容は県の具体的な提案に対する意見はほとんどなく、県民へは県のホームページを通じて意見募集を行ったとしているが、寄せられた意見は皆無だ。一体、どのような意見募集が行われたのか、作成手順もきわめて不透明だ。

協会はこうした中、県下会員にアンケートを行うなど意見を集約し、必要な対策を検討することにしている。この問題についてのご意見をぜひお寄せいただきたい。

「バイオハザードの危険性は」「埋立地では津波被害が心配」

表　兵庫県地域医療再生計画（案）より

⑥県立こども病院を新神戸中央市民病院隣接地へ移転し、両病院の一体的運用により救急、小児救急・周産期医療の全県拠点を整備

- 平成23年度事業開始
- 総事業費　13,000百万円
（基金負担分　6,500百万円、県負担分　6,500百万円）

基金総額15億円の場合
- 総事業費　13,000百万円
（基金負担分　800百万円、事業者負担分　12,200百万円）

小児・周産期の専門医療機関である県立こども病院を総合的な診療機能を有する新神戸中央市民病院隣接地（ポートアイランド2期）に移転整備し、双方の高度な医療資源の効率的な活用により、小児から妊産婦、成人まで総合的救急医療を提供する。

隣接するメリットを最大限に活用し、一体的に運用するため、周産期、救命救急のセンターを共同設置し、①兼務のセンター長、次長等の医師を配置することにより医師の相互交流を進めるとともに、②医療情報システムの共有化、③専用連絡通路の設置など、共同診療体制を整備する。

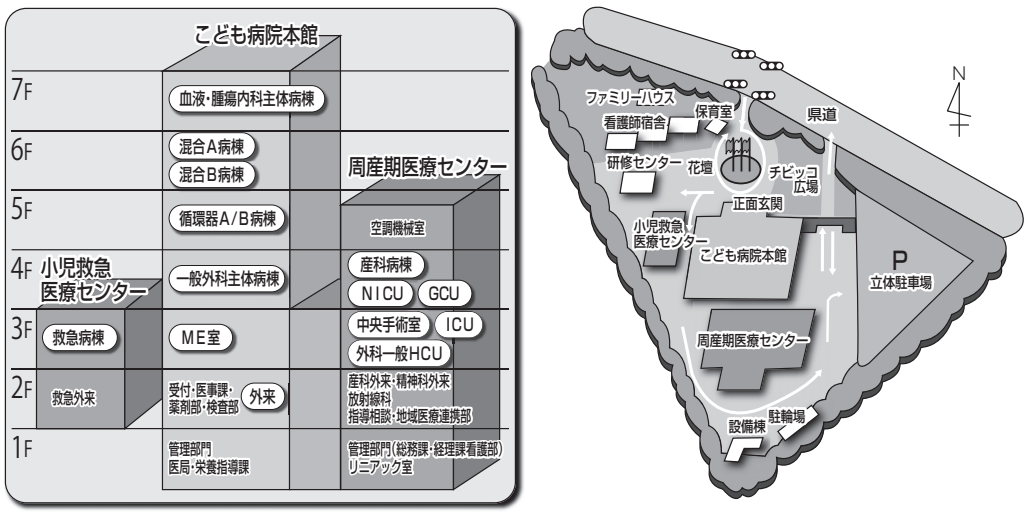
また、共同研修プログラムにより、両病院が一体となって救急、産科、小児科等の若手医師を養成する。

◿　両病院の一体的運用による救急、小児救急・周産期医療の全県拠点整備

◿　両病院の各科専門医による共同診療体制の整備
- 医師の相互交流（兼務センター長、次長等医師の配置）
- 医療情報システムの共有
- 専用連絡通路の設置

◿　共同研修プログラムによる若手医師の一体養成

県立こども病院建物配置案内（同病院ホームページより）



私の映画案内 ⑪

白岩一心

神様のカルテ

原作者、夏川草介氏のデビュー小説の映画化です。原作者は現役内科医師で、医師の立場から医療の現場を描いています。原作小説は全国の書店員の選ぶ「本屋大賞」に史上初、2年連続ノミネートされました。

ストーリーは、松本市で寝る間もなく多忙を極める内科医師が、最愛の妻に励まされながら、患者さんとの心の交流を大切にするヒューマンドラマです。

医学的には治療方法もなく、どうしようもない末期ガンの患者さんに頼られる内科医師。命と真剣に向き合い、さらには患者さんと真剣に向き合い、医療の本質を問いながら展開するところが最大の見どころです。

「命を救うとは？」「人間を救うとは？」という医療の永遠のテーマを、主人公内科医師の心の葛藤と一緒に重ね合わせた作品です。

何があっても、どんなときにも夫を支え続ける愛妻・ハルと、主人公内科医師・イチト。2人の夫婦愛も感動的です。末期ガンの患者さんとふれあう中でも、愛妻の陰なる深い思いやり、笑顔も見逃せません。

イチトが気づいたこと、それは、患者さんが人間として生きる喜びを手助けすることが医療の本質。そして誰よりも人間らしく最期を見届けることこそが、医師の最大の役目だと知ること。遠回りや模索しながら、悩みながら、医の倫理を探っていく過程も飾り気なく描かれています。チーム医療の大切さも見事に語られています。

観る人全てに生きる輝き、夫婦愛、人間愛を問う、心の深い部分を描く、お勧めできる作品です。

主人公には、人気絶頂の嵐のメンバー、櫻井翔さん、最愛の妻には、NHK大河ドラマでお茶の間の人気を独占した「篤姫」主役の宮崎あおいさん。2人が、奥深い、言葉にできない優しさに満ちた夫婦愛を熱演しています。

「命」の重みが問われる時代だからこそ、そこはかとなく感動も深まります。鑑賞後、患者さんと寄り添うことがどんなに幸せな時間なんだろうと、心に刻まれることでしょう。

あなたなら患者さんの何を救うことができますか？

あなたの涙をすくう人は誰ですか？

あなたは、愛妻・ハルのような、かけがえない存在を大切にしてますか？

繰り返される「医療の本質」をひたむきに感動的に描いている作品です。

そして「神様のカルテ」のタイトルの意味が、明日への医療のあり方を見つめ直すことで、頷ける作品となっています。

会員いんふぉめーしょん

求人

●**歯科医師①**
◇**勤務地**　赤穂市加里屋57―5
◇**条　件**　経験2年以上（3年以上勤務できる方）。常勤、アルバイト可。インプラント等親切に教えます。女医歓迎
◇委細面談のうえ
◇お問い合わせは、☎0791―46―0177秋田まで

●**歯科医師②**
◇**勤務地**　宇川歯科・宝塚市中山五月台2―11―4（阪急宝塚線「中山」駅下車バス10分、マイカー通勤可）
◇**給　与**　常勤30万円～100万円、非常勤・時給2500円～5000円
◇委細面談のうえ
◇お問い合わせは、☎06―6208―1820まで
HP　http://www.ukawa-shika.com

会員訃報

戸堂新八郎先生
尼崎市　耳鼻咽喉科
6月18日　享年83歳

内藤　昇三先生
加古郡　内・循環器科
7月22日　享年76歳

野村やおい先生
揖保郡　産婦人科
7月26日　享年90歳

ご冥福をお祈り申し上げます

保険医のための医薬品、医療材料、医療機器の共同購入事業

M&D保険医ネットワーク

■協会会員の開業医はどなたでもご利用OK。
■40年の歴史と実績をもつ大阪府保険医協同組合が母体となって運営し、医薬品・医療器材・歯科器材・生活関連商品を数多く取り扱っています。
■ご注文は電話、FAX、Webオンラインから。
■Webサイトから、最新の取扱商品・価格がご覧いただけます。利用方法はお問い合せください。
URL http://e-mdc.jp/
■ご利用者・ご希望者の協会会員には、1カ月に1回「medical net」（共同購入案内）をお送りします。

M&D保険医ネットワーク　☎06-6568-7159

歯科定例研究会より

審美歯科から始めましょう

―審美修復～包括治療まで―

奈良市・貞光歯科医院院長　貞光　謙一郎先生講演

はじめに

2025年には11,000人の歯科医師が過剰になると言われ、そのような現実は歯科医師のみならず、マスメディアの影響により一般社会にも浸透している。そこでわれわれは、競争社会の中で生き残りをかけ、歯科医業を営まなければならない。

現状の保険制度の中で余裕のある経営状態を維持するために、１日30人の来院患者を８時間労働で診療しようと考えれば、１人の診療時間が単純計算で16分となる。筆者自身、１日６人から８人ほどの患者さんに精密で緻密な診療を行うと、残念ながら保険診療の枠の中では診療を営めないと考えてしまう。

そこで、当院ではデジタルカメラとパソコンを用い、時間をかけて患者さんに治療方法の説明を行ったうえで、患者さん自身に治療方法の選択をしていただいている。

また、１口腔１単位として治療を考えるとともに、病因を考察し治療にあたることを主眼において、診査診断を行ったうえで治療計画を立案し、患者さんに説明を行う。しかしながら、咬合が崩壊しているケースにおいては、垂直的な顎位の問題や水平的な顎位の問題、咬合高径の問題など治療を進めるにあたって、考え入れながら治療を行わなければならず、それには経験や時間を要することとなる。

そこで私自身は、患者さんにも分かりやすく術者も取り組みやすい審美修復処置に力を入れ診療にあたるとともに、若い先生方には審美修復処置から自費治療に移行していただけたらと考えている。

審美修復について

従来のメタルボンドと言われる陶材焼付け金属冠においては、金属を用いるために光を遮蔽し天然歯のもつ透明感を表現することが難しく、熟練した歯科医師や歯科技工士でなければ審美修復を成功に導くことは難しかった。

しかしながら、オールセラミックス単体での修復処置が可能となり、極めて天然歯に近い色調再現を行えることとなった。そこで当院では、とくに前歯部修復において、オールセラミックスを用い良好な結果を得ている。

オールセラミックスには、大きく分けてシリカベースドセラミックスとノンシリカベースドセラミックスの二つに分かれるが、私としては光の透過性の問題と力学的な強度を考え入れながら選択し、臨床に取り入れることが重要であると考えている（図１・２）。

また、最近注目しているのは、レジン充填材料である。元来、材料の特性から永続性に問題があると言われてきたが、当院で予後経過を観察すると、長期間にわたり良好な結果を残している。したがって、ミニマムインターベーションの概念から考えると、余分な歯質を削除することなく修復処置を終えることのできるレジン充填材料の用途は、大きく拡大したと考えられる。

筆者自身、現在の日常の臨床においては、フロアブルレジンを直接口腔内に築成をして積層充填を行い、時間のかかるレジン充填には透明のバイト材を用い、充填タイプのフロアブルレジンを圧接しながら用いるフロアブルレジン積層法に、より良好な結果を得ている。

最後に、ラミネートベニア修復は歯質の削除量が少なく、審美性を望む患者さんにおいては短時間で良好な結果を得られることから、日常臨床の中では大きく用いているが、一般的に述べられている歯質の削除量では、日本人の歯には適さず、考慮が必要であると考えている（図３・４）。

まとめ

材料学的な進歩により、極めて天然歯に近い審美的な修復が可能となるとともに、インプラントも進化し歯を失っても咀嚼機能を十分に保てるようになってきたと考えている。しかしながら、海外から入ってくる文献などのエビデンスは、骨や歯牙のボリュームの小さい日本人に、どこまで適用できるのか考えてしまう。

そこで筆者は、エビデンスと言われる文献自体も考慮し、個々の患者さんに見合った的確な治療が行えればと考えている。

図１　術前

図２　オールセラミックス術後

図３　術前

図４　ラミネートベニア術後

初心者のための　保険請求事務講習会（医科）

［神戸会場①］
日　時　９月３日(土)～４日(日)
会　場　協会会議室（JR・阪神「元町駅東口」から南へ徒歩７分）
［西宮会場］
日　時　９月10日(土)～11日(日)
会　場　西宮市民会館301号室（阪神「西宮駅」から北へ徒歩１分）
［豊岡会場］
日　時　９月24日(土)～25日(日)
会　場　じばさん但馬（JR「豊岡駅」から南西へ徒歩20分）
［神戸会場②］
日　時　11月５日(土)～６日(日)
会　場　協会会議室（JR・阪神「元町駅東口」から南へ徒歩７分）
［姫路会場］
日　時　11月26日(土)～27日(日)
会　場　姫路労働会館多目的ホール（JR「姫路駅」から南東へ徒歩15分）

◆プログラム
〈１日目　14時30分～17時30分　※姫路会場のみ15時～18時〉
保険診療とは／窓口業務／薬剤点数計算、など
〈２日目　10時～15時〉
診療報酬請求の実務／レセプト作成実習（外来分のみ）
◆定　員　各会場80人　◆参加費　7000円（資料代・２日目昼食代含む）
◆２日間とも参加された方には「修了証」を発行します。

お申し込み・お問い合わせは、☎078－393－1803　まで

兵庫保険医新聞
第1662号
2011年8月5日
発行所　兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078・393・1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133
(会員の購読料は会費に含まれています)

県立こども病院

新中央市民隣接地に移転計画

兵庫県は、神戸市須磨区にある県立こども病院を、同市中央区のポートアイランド2期地にある神戸中央市民病院隣接地に移転しようと計画していることが、6月に作成された「兵庫県地域医療再生計画（案）」で判明した。移転は、ポートアイランドの医療産業都市に病院群を集中させたい神戸市の要請に県が応じたものと言われている。市民や医療関係者などからは「救急が不便になる」「せっかく高台にあるのに、なぜ沖合いの埋立地にもっていくのか」「バイオハザードの危険性がある」「現在地で建替え可能なのになぜ」など、疑問と反対の声が噴出している。

須磨区から中央区ポートアイランドへの移転計画が浮上している県立こども病院

医療産業都市に病院集中

県立こども病院は、1970年に県政100周年記念事業として、国立小児病院に次ぐ全国2番目の小児総合病院として開設された。

これまで、94年に周産期医療センター、2000年に慢性疾患児家族宿泊施設、02年に第3次小児救急、07年に小児救急医療センターと、新施設を次々と開設してきた。

小児の難病はもとより、周産期医療、小児救急の核として、地域医療になくてはならない役割を果たしている。

本館が築40年を超えることから老朽化対策が求められているが、「設計専門家による調査によって兵庫県が誇れる新病院の現地建替えが可能であることが判明」（2011年1月1日付「こども病院ニュースレター」）としており、移転建て替え以外の選択肢があることが確認されている。また、小児救急センターは開設から4年しか経っていない。

こうした中で、ポートアイランド2期地・神戸中央市民病院隣接地への移転計画が突如発表されたことに、産婦人科や小児科関係の協会会員から疑問と反対の声が相次いで出されている。

（10面に続く）

保団連近畿ブロック学習会

被ばく者医療から視た福島原発事故

日　時　8月21日(日)
14時～16時
会　場　難波御堂筋ホール9階
講　師　郷地　秀夫先生
（兵庫協会副理事長、原爆症認定集団訴訟支援ネット兵庫代表）

お申し込み・お問い合わせは、☎078－393－1801まで

田中康夫衆院議員が講演

消費税増税は愚策 大企業が負担を

協会は7月23日、新党日本代表の田中康夫衆議院議員を講師に政策研究会「震災復興と社会保障改革」を開催。医師・歯科医師ら45人が参加した。

研究会は、田中氏側の申し出を受けて実現した。

田中氏は、震災復興や社会保障改革の財源として消費税増税が前提になっていることに対し、「増税では、すべきでない」「イギリスの付加価値税は、きめ細やかな税率設定がされており、全体で9・7％の税率となる。それに比べ日本では10％にしても足りないなどと言っている」と説明。国際的観点から消費税増税の誤りを指摘した。

震災復興と社会保障改革をテーマに開催

財源論については、「法人税を引き下げねば日本経済は弱体化する一方だと財界は主張するが、上場企業の7割がすでに法人税を納めていない」として、大企業に体力に見合った税負担をさせる必要性を説いた。

社会保障改革については、「労働と家族が多様に変化したのだから、働いている人も働いていない人も、生活に最低限必要な所得を全ての個人に無条件で保障するべきだ」とし、ベーシックインカムの導入を提案。利点として「福祉事務所や社会保険庁を自動的に不要にし、行政の肥大化を減らすことにもなる」などと述べた。

原発問題について田中氏は「総括原価方式という電気料金の決定方法を見直すべきだ。電力会社は、経営するすべての費用をコストに転嫁することができる上に、一定の利益率まで保証されており、決して赤字にならないシステムだ」とした。

放射線被害対策で県と懇談

被曝量減らす努力を

協会環境・公害対策部会は7月25日、福島第一原子力発電所事故による放射線被害に関して、兵庫県と県印刷会館で懇談を行った。協会からは森岡芳雄環境・公害対策部長（理事）が、県から坂本企画県民部防災計画課副課長ら7人が出席した。

協会が事前に提出していた、県内放射線測定箇所の増設や農水産物の汚染調査を求める申し入れ書に基づき、県側が回答し、意見交換を行った。

県側は、放射線量の測定について異常のある数値は検出されていないこと、県内産野菜の食品検査では基準値超の検出はないこと、太陽光パネル設置のための助成制度を新設したことなどを説明。原子力政策については、関西広域連合を通じて原発の安全管理・情報公開の徹底を求めているとした。

森岡芳雄理事（奥中央）が県へ要請した

また、放射能汚染された稲わらをえさにした牛肉が県内に流通していた問題について、「県内流通食品の検査の必要性は認識しており、早期に県独自の検査体制をとりたいが、検査機器は注文が殺到し納品が年末になってしまう。出荷過程が複雑で、実態を捉えるのが困難になっていることも課題だ」と、汚染実態を捉える対策の困難さを語った。

森岡部長は、飛散した降下煤じんの吸入などによる内部被曝の危険性が大きく、影響が後々になって現れると指摘し、「被曝量は少なければ少ないほどいいという視点に立って、対策を考えてほしい」と要望した。

さらに、「原発をやめなければいけないという思いが、国民のコンセンサスになりつつある。兵庫県として、原発政策に対しきちんと見解を持っていただきたい」と訴えた。

燭心

困ったことになった。最も危惧していた食品による内部被曝の問題が出てきた▼東北の大震災は関西人から見れば対岸の火事と思い、直接の震災被害は肌身には感じなかった。しかしここにきて、放射性物質がhot spot的に落下し、高濃度の放射性セシウムが稲わらに付着した。それを食した汚染牛が全国に流通し、国の対応が後手後手に回りさらに被害を大きくした。今後、発癌、流産、奇形児出産等々が問題になった時は、国や東電はいかなる責任をとるのか？▼ネットでは連日その危険性を指摘する情報が氾濫しているが、テレビ等のマスコミでは食品会社や大型外食産業がスポンサー、株主になっているからか、正確な情報を隠ぺいしているように思える。国民の生活・安全が第一で消費者主導の世の中にしなければならない。今の政府に期待できるのか？▼人体の五感すなわち視覚、聴覚、触覚は物理的感覚で、嗅覚、味覚は化学的感覚である。さらに敷衍すれば、嗅覚は遠隔化学感覚、味覚は近接化学感覚と言える。人体は放射線を受けても感知できない。危険から回避困難だ。牛乳や乳製品、お茶や野菜を食べても味に変化はないし悪影響はすぐには発現しない。このことが逆に消費者に強い不安を与える▼原子力というパンドラの箱を開けたのは人間だが、造化の神も、人体に放射線に対する感覚を具備させなかったのは36億年の生物進化の過程で〝神にとって人間の行いは想定外〟であったからか！（鼻）